

## 「輝く沖縄市の企業家たち！」

久場針灸院 (Ruby-cell サロン)      美容針灸師 <sup>へいあんざん</sup> 平安山 <sup>かおり</sup> 香緒理 さん

令和2年10月23日 (金) インタビュー

場所：居酒屋 羅針盤 (沖縄市中央 2-16-1 2F)

仲程      今回は、コロナ禍で大変な時期にインタビューの機会をくださってありがとうございます。それでは、さっそく始めさせていただきます。

はじめに、ご出身は沖縄市と伺っていますが？

平安山      そうなんです。私はコザで生まれて、コザ幼稚園からコザ高校まで、ずっとコザです。

仲程      ずっとコザだったんですね。

それで、このセンター通りで開業しようと思ったのはなぜですか？

平安山      もともとは、この居酒屋 (羅針盤) を開いたのが先だったんですが、私の父がこの建物の隣で鍼灸院をやっている状態で、それを引き継ぐ予定もあったからですね。小さい時から父の姿を見ていて思ったのですが、この土地のメリットは外国の方も日本の方も訪れる特殊な場所なんですよ。

駐車場の問題もありはしますが、意外に外国の方は基地から歩いて来られるので、駐車場の有無はそれほど重要な問題ではありませんでした。

いいところも悪いところもあるのですが、私にとってここは開業するのにうってつけの場所でした。

仲程      なるほど、ここはうってつけの場所だったんですね。

ところで、外国の方と日本の方とでは、店を訪れる人の割合はどうですか？

平安山      およそ日本の方が8割、外国の方が2割ですね。

仲程      お父さまは、空手 (剛柔流) の師範10段で、神様レベルの方だと聞いていますが、鍼灸師でもあると伺いました。お父様について少しお話しして頂けますか。

平安山      父は、鍼灸師でもあり漢方の薬剤師でもあるんですね。その影響もあって、私は小さい時から鍼灸と漢方で病気に向き合ってきました。例えばおなかが痛いといったら病院に行くのではなくて、おうちにあるこの漢方を飲もうとか、鍼灸で治そうとか、私にとって鍼灸はとても身近なものでした。

思春期には父と距離を置いた時期もありましたが、心の中ではかっこいいなあとか、頼りになるなあと思っていました。

**仲程** お母様についても伺えますか。

**平安山** 母は以前沖縄市の老人福祉施設で栄養士をやっていました。その施設の中に「薬膳会館」を立ち上げて、琉球古来の薬膳と父がやっていた琉球バージョンの漢方「御膳本草（ぎょぜんほんぞう）」とを照らし合わせながら、季節ごとの薬膳料理のレシピを組み立てて、それぞれの料理の効能も書き留めた立派なレシピ集を作りました。

「薬膳会館」は海外や県外から来られた方々に琉球料理をふるまって、その良さを知って頂くためにつくられたのですが、残念ながら、母が退職するとともに閉じてしまいました。

**仲程** そうでしたか。「薬膳会館」が閉じられたのはもったいないですね。

でも、ご両親とも人の健康に関する仕事をされていたのですね。

その影響を受けて健康にいい料理や鍼灸に関する仕事を始められたのですか？

**平安山** そうなんです。

話はちょっとそれますが、私はもともと保育士をやっていました。保育士をやめた後に主人が飲食店をやりたいと言って、二人で居酒屋を始めたんですね。それがこの羅針盤です。

居酒屋は夕方から開けるので、昼間は空いているんですよ。この空き時間を使って何かやれないかなと妹と相談した結果、母が作ったレシピをもとに薬膳料理を出せる店にしようということになったんですね。

最初はフルコースの薬膳料理から始めたんですけども、もっと若者にも好まれるようにアレンジして、スパイスの効いたカレーもメニューに取り入れました。それで、「薬膳本格カレーの店 rashinban」をスタートしました。

父の(空手の)支部がインドにもあって、地元の人に本場のカレー作りを教えてもらいました。この方には沖縄にも来てもらって指導してもらったんですよ。そのカレーをメイン・ディッシュとして、前菜には季節の野菜を取り入れた琉球のちょっとしたもの、母が準備するものを添えてコース料理として出しています。

**仲程** ああ、いいですね。

**平安山** 薬膳料理の店を始めたらやっぱり、いろんな不調を抱えた方々も来られるんですね。コース料理を予約して下さった方の話を聴く際には父にも参加してもらおうのですが、場合によっては父が鍼灸を施してくれるんですよ。父が開発した

「跳鍼法ちやうしんぽう」という技があるんですが、それを2、3分でササっとこの辺（前腕部）に鍼を施したらすっかり回復して帰ったりするんです。

それを見て、あっ、鍼灸ってすごいなあ、面白いなあと思って、薬膳料理を提供するにあたって東洋医学と本格的に向き合うことになりました。

妹は、薬膳師の資格を取ったんですよ。もともとは音大を卒業した音楽家で、音楽で自律神経の乱れを整えるメンタル心理ミュージック・アドバイザーの勉強をしてたんです。料理も好きで、それらを組み合わせて薬膳の勉強もしてきたんです。そこに私が父の跡を継いで鍼灸をやるようになれば、薬膳カフェというか、全国に無い面白いものができるなあと思ったんですね。それで思い立って、3年間は薬膳カフェを閉めて2016年から鍼灸学校に通うことにしたんですね。ちょうどそのころグルメサイトの取材を受けて取り上げてもらったから、全国から問い合わせが多くて、(せっかくの機会が)もったいないから通販でも薬膳カレーを提供できる形で残して、イベントでのカレーの提供も続けていこうとなりました。

**仲程 鍼灸の学校に通いながら？**

平安山 そうそう。だから父のすごさを本気で理解できるきっかけになりました。私が学校に通い始めたのは40歳になってからです。

**大嶺 鍼灸の学校はどこも厳しいと聞いていますが…**

平安山 鍼灸学校はどこも厳しいと思うんですけど、私は少し甘く考えていましたね。卒業すれば資格がもらえると思っていました。それと、実技ばかりやるものと考えていたら、ものすごい量の座学や山のような宿題があるんです。ストレスで帯状疱疹を発症した仲間もいました。幸い卒業できた人はみんな資格が取れましたけど。

**大嶺 やっぱり厳しかったんですね。**

平安山 はい、結構大変でした。父の話しによると、父のおじいちゃんは「ヤーチュー(お灸)」の名人だったらしいんです。帯状疱疹は自律神経のバランスが崩れて発症するので、おじいちゃんが治した治療方法を見聞きしていたらしいですね。その通りにやってみたら治せたよ、と言っていました。昔は文献が無いので口頭伝承で実践してきたらしいです。父はもともと薬剤師になる目的で学校に行っていて、鍼灸の道に進む予定はなかったのですが、薬剤で東洋医学の勉強をしたら、実際に体に触れて患者さんを診ていきたいということで鍼灸師にもなったと思うんですけど、そのあとでおじいちゃんの話に繋がってくるから、私たち(久場家)の血には鍼灸師の遺伝子が入っているのかなと話したりします。

平安山 沖縄のお灸の歴史を調べてみようと思っていますが、戦争で焼けて文献が残っていないので、もしかすると台湾かどこかに残っているかもしれないので、私は一生をかけて調べていきたいなと考えています。父は33年間沖縄県鍼灸師会の会長をやっていましたが、行政発行の補助チケットが使えるようにした

り、保険適用ができるようにしたり、そういう風に沖縄県の鍼灸をちょっとずつ変えていったんですね。

**仲程** なるほど、もともとお父様は隣の方で鍼灸院を？

**平安山** そうそう、隣でやっていたんです。

その時の鍼灸院はほんとうに殺伐とした、いかにも病院という感じの雰囲気でした。待合室があって、受付があって、治療室があって、という感じですね。私は、やっぱりマッサージや鍼などに女性が通うには居心地のいい空間ではないなと感じていたんです。父が70歳を迎えた時に鍼灸師を引退して私に技術を継承していくことになり、父の鍼灸院はいったん閉じて、このビルの3階にある妹のピアノ教室の中に私の治療院を開くことにしたんです。そこは音楽があり子供たちもいる空間です。そのあとで1階にも治療室も作りました。

**仲程** あっ、じゃあ今は1階でも3階でも治療をしているんですか？

**平安山** そうです。ただ、だいぶお客様は変わりましたね。

父が鍼を打っていた全盛期はほとんど外国人や高齢者だったんですけど、私が治療室の雰囲気を変えることによって今はずいぶんと年齢層が下がりました。若い人でもぎっくり腰とか、膝が痛いとか、整形外科疾患で行くところがないという人たちが来てくれています。

ここの1階で、アロマセラピーやリンパマッサージなどを受けに来た人たちも、私が隣でやっている美容鍼の効果を知って通ってくれたりします。さらに、その方々が何らかの整形外科疾患で困っている身内や知人を紹介してくれたりして広がっています。

**大嶺** なるほど、施術科目や治療室の雰囲気を変えたら客層も変わってということで、新しい鍼灸の可能性が広がっているんですね。それと並行して、お父様の技術、特に独自に編み出した「跳(ちょう)鍼法(しんほう)」なども、できれば継承して欲しいなあと思います。

**平安山** はい、「跳鍼法」というのは、腱を切る特殊な鍼があるんですが、その先端を曲げて改良した鍼で、ツボの表皮を跳ね上げるように刺激するから「跳鍼法」と名付けたと言っています。

**大嶺** 「跳鍼法」とか、お父さんの経験に基づく知識や技術などは記録に残っていますか。

**平安山** 残念ながら記録として残っていないんです。実は、私が鍼灸の専門学校に行った目的の一つはそれなんです。父が元気なうちに記録にまとめたかったからなんです。

**平安山** 「跳鍼法」はあまり痛くなくて効くんですよ。

だから鍼が怖いという人や、小さい子どもにも使える方法なんです。

いま「コリン性じんましん」という病気の子が母親に連れられてうちに通って

いるんですが、この子を「跳鍼法」で治療しています。

この病気は、汗をかくと顔が大きく腫れてぜんそくの発作が起こり呼吸困難になったりするんですね。5歳から発症して他所で治療を受けていたが改善しなかったようです。そのため、学校では運動ができないので体育の時間にはほとんど参加できなかったそうです。

平安山 いろいろ文献を調べたり、父に話を聴いたりしましたが、明確な治療法はわかりませんでした。そこで基本に立ち返って考えてみたんです。

喘息というのは基本的に肺の疾患なので、肺と大腸の治療をしながら様子を見てみることにして、父の「跳鍼法」と漢方薬と併用して治療を始めました。

今年の5月から開始して約2週間で改善してきたんですよ。その後も週に1回の割合で治療を続けているのですが、6月には体育の時間に参加できるようになり、8月にはプールにも入れるようになったと手紙に書いてくれました。

仲程 **鍼をさすって、痛いこともあるんですか？**

平安山 あります。でもね、痛さって人によって違うんですよ。痛みを感じにくい人と感じやすい人がいるんです。ストレスを感じている人とかって痛みを感じやすい傾向にあります。また、なにかしら病気を抱えている方の中には痛みに弱い方も多かったです。

でも、痛みに弱い方や子供は敏感なので、とっても小さい鍼であんまり多くを刺さなくても（鍼への反応がいいので）治ったりするんですよ。逆に痛みに強い人は鈍感になっているので治りにくい場合もあつたりします。

治療方法は本当に人それぞれなので、その人に合わせて鍼の深さを変えたりするんです。

東洋医学って面白いんですよ。この病気にはこの薬とか一律ではないんです。

仲程 **人それぞれで施術内容を変えているんですね。**

平安山 だから、専門学校時代に使っていた本を何回も読み返して、今も勉強づくしの日々です。学生時代に取っていたノートもいつもカバンに持ち歩いています。

大嶺 **やっぱり大変な勉強量ですね。**

ちなみに、人間にはたくさんのツボがあると聞いたことがあるんですが、専門学校ではどれぐらい覚える必要があつたんですか。

平安山 そうですね、366覚えました。経絡上に無いツボも合わせると400近くは習いましたね。覚えるのが大変でした。

学校で使った本はたくさんあるんですけど、こうやっていっぱい書き込んであるので手放せないんですよ。ことあるごとに見直しています。

大嶺 **本当にたくさんあるんですね。**

その366のツボは、指先で触ってわかるようになるんですか？

平安山 そうです。でも、皆さんも多分わかると思いますよ。  
たとえば頭が痛い時に、ここをこういう風に抑えるとか、やっていませんか？

大嶺 ツボと分かってやっているのではなくて、ここを抑えると少し楽になるなあ、とか、気持ちいいなあ、という程度の感覚でやることはあります。

平安山 それです。自分の感覚としてはなんとなくわかりますよね。  
でも、他人の感覚はわからない。鍼灸師の難しい所はそこなんです。他人の感覚をわかってあげないといけない。だからツボの位置を正しく覚える必要があります。

仲程 **ところで、美容鍼灸では食事療法とかもするんですか？**

平安山 はい、食事療法もやります。  
体質をだいたい5つに分類するんですが、「木・火・土・金（こん）・水」と「気・血・水」や「肝・心・脾・肺・腎」の観点で診ます。たとえば、「肝」というのは西洋医学でいう肝臓のことではなくて「肝」が持っている役割、つまり、気の流れや自律神経系統を通じて体全体の機能が順調に働くように調整する機能を持っているのですが、それが弱くなっていたら、「肝」を回復させる食事、例えばこんなものを食べましょうね、みたいなアドバイスします。

平安山 弟が薬剤師なんですけど、今回漢方薬剤師の資格も取ったんですね。  
この弟が作った問診票で相談者の体質を診断し、体質に合った鍼灸と食事療法を行います。食事と漢方のアドバイスは妹と弟にやって貰っています。

仲程 へえ、なかなかないんですよ、美容鍼灸院で体質診断から食事療法まで指導してくれるのは。久場針灸院ならではですよ。

平安山…… そうですね。でも、なんとなく、例えば甘いものが欲しいなあって思う時ってあるじゃないですか。ああいう時ってやっぱり疲れがあるんですね。  
「脾」の部分が甘いものを必要としているときが多いんです。  
こういう時に私は鍼というよりも食事を考えたりします。「脾」というのは色でいうと黄色なんですね。それで黄色いものって何かと考えると食材を選びます。脾臓の疲れは夏場に多いんですけど、カレーが良かったりするんですよ。

平安山…… 本当はお母さんたちに鍼灸の治療を診てもらって、私が小さい頃お家でやったように、子供の痛い所や具合が悪いところに手を当てる「手当て」をやってあげられるようにしたいんですね。

平安山…… 理想をいえば、病院に来るほどでない「未病」という段階で手当てすることが望ましいですよ。お母さんの手料理を食べて、お父さんとよく話をして、体と心のケアができれば、子供たちはすくすく育つと思うんですよ。何でも話ができる家族の輪というのが「未病で防ぐ手当て」に繋がると思います。私はそれを伝えていきたいんです。

平安山……お年寄りの死亡って誤嚥性肺炎<sup>ごえんせいはいえん</sup>で亡くなる方が多いんですね。唾液がうまく分

泌されないから、きちんと食べ物が呑み込めないためにおこるんですけども、顔の横、耳たぶの前をさすったり、あごの真下を親指で押ししたりすると唾液が出るようになるんですよ。

これなら家族がやってあげられますよね。

平安山……治療をしながら、ご家族にもそんなことを教えてあげるんです。「私が言ったことを忘れたら、またおいで下さいね。」と言いながら。

逆に皆さんからも、いろんなことを勉強させてもらっています。

**大嶺** いいですね。

平安山……いえいえ、まだ未熟で、父がいなかったらこんな人生なかったと思うんです。

専門学校を卒業してすぐに開業するって、普通は不安だと思うんですよ。時々父と相談することがあるんですよ。今は便利な時代になっているので、私の同級生たちが困ったときは、いつでもネットにつないで相談に乗ってくれないかなあと。

平安山……私は40歳の時に専門学校に入ったのですが、周りの若い子たちの中で3年間過ごし、彼らからいっぱい気付かされたことがありました。

また、私以外にも40代で入学した方が何人かいたのですが、自分の子に自宅で手当てしてあげたいと思い鍼灸専門学校に入学したと言っていました。そして、その子と自宅向き合っているうちに体調が良くなっていったので、そのことを聞いた他のお客さんも来るようになり自宅の部屋で開業するようになっていきますよ。

**仲程** へえ、そういう方もいらっしゃるんですね。

平安山……そう、だから応援してあげたいので、何かあった時にヘルプでうちの父を利用して下さいって言っているんです。

平安山……それとね、友達と話していてもやっぱり気になってくるんですね。目の色だったり肌の色だったりとか。

**仲程** なるほど、気になるんですね。平安山さんのような方に診てもらったら安心しますね。何でも治りそうです。ところで、最近のコロナの影響はどうでしたか。

平安山 4月、5月が一番きつかったですね。

**仲程** 今は通常通りになりましたか。

平安山 はい。ただ、コロナで治療を中断すると予約を取り直すのが難しくて、一旦リセットして次の機会を待つということもありました。だから、中断した方については影響が大きかったなと思います。

平安山 だけど、別のルートで新規のお客様が増えたりして助かりましたよ。というのは、1階の美容鍼灸院はエステやリンパマッサージの店とルームシェアしてい

るのですが、そこに通っているお客様が興味を持って来店してくれたり、知り合いを紹介してくれたりしてありがたかったです。

2階の居酒屋も、私は週末の金・土に主人の手伝いで出勤しているので、来ているお客さんにマッサージ始めたんです。アピールと経験を積むチャンスだと思って。

平安山 主人は神経痛がひどかったのですが、私の鍼で治ったこともあって、居酒屋のお客さんにアピールしてくれていたんですよ。

もともと鍼が嫌いな上に私の鍼を信用していなかったんですよ。まずは父の鍼で治療を受けて、その後は私が父と同じように治療を進めて治ったので、私の鍼灸も評価してくれるようになったんですね。それから自分の居酒屋で、ことあるごとにお客様に話していたようで、それを聞いたお客さんからいろんな相談を受けるようになりました。

平安山 だから、集客のやり方が他の治療院とは違いましたね。

こんな風にいろんな業界と繋がっていったらいいなと思いますね。

例えば、美容院も髪の毛の問題を考えると、ハリがないとか抜け毛が多いとか、それは内臓が弱っていることに原因があったりするんですね。私たちと連携することによって、そういう人にも「改善できるかもよ」とアドバイスできたらいいですよ。

また、お洋服屋さんでも体型的面で「急に10キロも太っちゃった」とか相談を受けたときに、「気になるんだったら体質診断を一度受けてみたら？」と助言してみるといいですよ。

意外なところに問題があって、鍼灸で元の健康な体と体型に戻れるかもしれないですよ。そうすると、ジャストフィットのお洋服を提供するよりもお客様から感謝され、信用度が増すかもしれませんね。

平安山 意外と関係ないように見える悩みを、相談できる異業種の人と共有することによって今まで以上の解決策を見出せることがありますよ。

これは、業種間の連携だけでなく、患者さんが通いやすい地域にある優良店を紹介するなど、同業者間の連携でもいえることだと思います。

平安山 話は変わりますが、イベントで、ある先生を招いて講演していただいたことがあるんですね。参加者から健康相談を受ける際には、まず脈診で健康状態を診て不調があるのかないか、あるとすればどこに原因があるのかを掴むのですが、驚いたことにその先生には脈の乱れが全くないんです。普通60代の方は必ずどこかに不調を抱えているのですが、通常よりも肺の機能が強かったんですね。「実は、自彊術じきょうじゆつというのを10年以上やっております。」とその先生が言うので調べてみました。

仲程 自彊術じきょうじゆつって何ですか？



平安山 ラジオ体操の元になったもので、大正時代から行われている健康法なんです。実際に体験してみようと思って、今も私は通っていますが、準備体操でツボを押す動作があるんですが、それらのツボはすべて私が美容鍼で打つツボなんです。美容鍼って自彊術からきているのかなと思うくらい一致していたんです。

平安山 そこで、この自彊術を習得して私の運動指導に応用したいと思ってやり続けているんです。できれば師範になって道場を開けるまでになりたいですね。朝、道場で教室をやりたいなあと思っています。正直、みんなが自彊術をやれば鍼灸治療もいらなくなるんじゃないかなと思うくらいです。

平安山 沖縄市って、生活習慣病の罹患率がめちゃくちゃ高い地域なんですよね。市民にこの自彊術体操を拡げて毎朝やってもらおうと、すぐに改善すると思うんですけどね。

あっ！ 話それています？

仲程 いえいえ、大変興味深い話です。

今後の目標とかも伺いたいと思っていたので。

平安山 ああ、そうですね、目標はそんな感じですね。自分の身体の不調を自分で気づいて自分で治せるようにしてあげたいですね。

仲程 なるほど。家でできることを優先して教えて、病院や治療院に通わなくてもいい方向に進んでいったらいい、ということですね。

平安山 そうそう。だから、イベントも食事付きで皆が女子会のように気軽に来れるようにして開催したり、そして毎週火曜日にはワンコイン（五百円）で鍼灸体験ができるようにしているんですよ。鍼灸だけでなく薬膳とか栄養の指導なども家族ぐるみでやっています。

仲程 お父さんが言わなくても、背中を見て自然にそうなっているんですね。

平安山 お母さんも同じことをやっているんですよ。

弟とは年が離れていてばらばらだったんですけど、「健康と美容」のもとに家族が一つにまとまっているような気がします。また、弟の奥さんも看護師で保健婦の資格も持っているので家族でいるとこういう話を良くします。

平安山 シーミーとかで親戚が集まると最近の話題は「死に方」なんですよ。どんな死に方が良いかとかね。

おばさんが2、3年前にがんで亡くなったんですけど、抗がん剤の影響でひどい便秘になり、苦しかったと思うんですね。親族が見舞いに来るのも嫌がっていたくらいですから。だけど、私がマッサージやお灸などをしてあげたりすると、楽になるので、私だけは来て欲しいとよく言われていました。

例えば、その日は1日2回のモルヒネ注射が1回でいいようになったり、顔の

マッサージをすることによって、だんだん表情も良くなっていったんですよ。ただ、残念ながら食事は亡くなるまで口から摂ることはできませんでした。

平安山 私は鍼灸師になるときに、父の記録を残すということだけではなくて、両親の介護は私がやる気持ちがあったんですね。うちはたまたま弟も薬剤師だし看護師の奥さんもいるし、安心して年取って行けると思うんですけど、ただ、病気になった時にどういう治療をするのかは本人が選択しないとけないので、今から話していこうと思っています。本人がここまでの治療でいいとか、後は旅行を楽しみたいとか、家族と過ごしたいというかもしれないですが、私たちは苦しまないサポートをしながらやりたいことを全部やらせようという話をしています。

大嶺 いいですね。理想は「びんぴんころり」ですからね。

平安山 実は自彊術体操は別名「びんぴんころり体操」というんですよ。ぜひみんなにもやってもらいたいです。

平安山 みんなね、ここが痛いからここを治療しようというんですけど、人間の体は骨も筋肉もすべて連動しているんですよ。痛い所を敢えて動かさないで、遠いところから動くようにしていくのがコツなんですよ。

大嶺 なるほどねえ。いい勉強になりました。

平安山 東洋医学って本当にすごいんですよ。昔からあることがこんなにもすごいものだったんだと改めて感じるし、沖縄をもうちよっと深堀して見つめなおしていきたいなと思ったりします。

大嶺 沖縄には昔「ブーブー」というのがありますが、それについてはどうなんですか？

平安山 私はブーブーまではやってないんですけど、カップリングはしています。うちのじいちゃんとはあちゃんがブーブーをよくやっていました。ただ、ブーブーはツボの周辺をカミソリの先などでチクチク刺して血を出すので、今の法律で特別な資格がないとやれないんですよ。皮膚に傷ついたり血を出すのは医者か看護師だけに許可されている処置なんです。

大嶺 そうか、それで最近は見かけないんですね。

平安山 皮膚に軽く傷をつけてうっすらと血をにじませることを「瀉血<sup>しゃけつ</sup>」というんですが、ほんとうは瀉血が一番効くとも言われているんですね。その瀉血に代わる治療法が父の開発した「跳鍼法<sup>ちようしんぽう</sup>」なんですよ。

大嶺 なるほど、進化した「現代版ブーブー」ということですか。

ちなみに「跳鍼法」って普通の鍼とどう違うんですか？

平安山 ちょっと専門的になりますが、このくらいの長さ（約15センチ）の特殊な鍼があるんですね。父はその鍼の先をかぎ針状に曲げて専用の鍼を作りました。それで皮膚表面をごく浅く刺激する独自の技術を開発したのです。跳ね上げる

ように施す鍼なので「跳鍼法」と名付けたそうで、この技術は業界誌などで全国に紹介されています。

**大嶺** お父さんが独自に開発した道具と技術なんですね。

**平安山** はい。例えば体調が悪い人の場合、手足が冷えたりしますよね。手足の毛細血管が滞って血液が行き届かないために冷えたりするんですが、この場合も跳鍼法で改善できます。大きい血管も大事ですが、毛細血管もとっても大事なんですよ。

**仲程** いやいよ最後の質問ですが、行政に期待することは何ですか？

やってほしいこととかありますか？

**平安山** ああ！ 私今とても満足しているんですよ。

美容鍼を受けに来てくれる方は、ほとんど何かしらの疾患を持っているんです。リウマチなどの自己免疫疾患や肩こり、腰痛など。そんな方々がここまで来てくれるんです。とてもありがたいことです。今は国民健康保険だったら役所の方からチケットが出ている。これがあれば治療費が千円安くなるので必ずもらってきてくださいね、と来院者には教えるんですよ。そういう補助で患者さんが通い続けられるし、私としても治るまで治療してあげられる。

このチケットだけで充分ですね。

**平安山** そうですねえ、強いてあげるとすれば自彊術でもラジオ体操でもいいんですが、みんながどこでもできる体操やストレッチ運動が沖縄市全域に広まるといいですね。何でもいいですよ、好きな運動であれば。私は100歳まで自彊術を続けると思います。

**仲程** 自分の体調を整えるための体操を市民みんながやれるような環境が作れたらいいですね。私もなにか続けられる運動を見つけたくまりました。

本日は、お忙しい中にもかかわらず、いろいろなお話をお聞かせいただきましてありがとうございました。

インタビューー：大嶺、仲程

会社名	：	久場鍼灸院（Ruby-cellサロン）
住所	：	沖縄市中央2-16-1
電話番号	：	098-987-8941
問い合わせ先	：	企業誘致課内線（内線：3242）